

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム まこと1・2

## 目標達成計画

作成日: 平成 28 年 10 月 29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	利用者様が高齢となり、精神的・身体的低下により、出来る事が少なくなっている。	健康維持・利用者様個人のペースに合わせて現状維持出来る様に支援する。	リハビリ体操・廊下での歩行訓練を行い、体を動かす。利用者様個人のペースで体調等を見ながらレク等の声掛けを行い、参加して頂く。孤独にならない様にスタッフと一緒にお茶を飲み、お話・外気浴等で気分転換を図る。	12ヶ月
2	4	利用者様のADL低下に伴い、スタッフの介護負担が多くなっている。	スタッフの介護負担の軽減	歩行困難者・動きの悪い利用者様の入浴時は二人対応とする。歩行困難時・歩行不安定者の夜間の誘導は車椅子を使用する。毎日の申し送り等で状態把握し、ケア会議の個別で検討し、状態変化に合わせた介助方法(手引き歩行・移乗方法等)を統一する。シフトを考慮し、スタッフ個人の負担軽減を図る。	12ヶ月
3	13	新任スタッフの入職・役職者交替があった為、スタッフの仕事に対するモチベーションを高めると共にスキルアップを図る。	スタッフのスキルアップを図る。研修・講習等に参加し、必要な資格習得する。	ケア会議で行う社内研修の充実。社外研修に出来るだけ新任スタッフを参加させる。必要な資格習得に伴う研修や試験等は必要資料を作成、情報提供、シフトを考慮する。合格者は資格手当を得る。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。